

しんちやくとしょあんない 新着図書案内

2024 年度第 9 号

2025.2.10

まつさかしょうぎょうこうこうとしょかん
松阪商業高校図書館

ねんほんやたいしょう
2025 年本屋大賞 ノミネート作品発表!

ひやしがぞう
※表紙画像は
国立国会図書館
サーチ等API
より。



本屋大賞

ノミネート作品発表

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位 10 作品が二次投票/ミネート作品と決定しました。今後このミネート作品を対象に二次投票を実施し、4 月に「本屋大賞」を発表します。<投票対象は 2023 年 12 月 1 日～2024 年 11 月 30 日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)>

本屋大賞HP <https://www.hontai.or.jp>

- 『アルプス席の母』 早見 和真/小学館
- 『カフネ』 阿部 曉子/講談社
- 『禁忌の子』 山口 未桜/東京創元社
- 『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂 ミチ/小学館
- 『小説』 野崎 まど/講談社
- 『死んだ山田と教室』 金子 玲介/講談社
- 『spring』 恩田 陸/筑摩書房
- 『生殖記』 朝井 リョウ/小学館
- 『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈/新潮社
- 『人魚が逃げた』 青山 美智子/PHP研究所

せらちゅう
コーナーを設け
中です。
この利用
ください。

Supported by **NOLTY** 手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。

書籍名五十音順

しんちくとしょ 新着図書から



こうきゅう けししにむかひ
後宮の検屍女官
(小野はるか著)



へたれ人類学者、沙漠を
ゆく。(小西公大著)
人類学の本なのにすらすら
読める。
インドで「思考や認識の
軸がゆさぶられ」る
終焉の教養を生玉生玉と
書いている。

こうせい せい
高校生ビッグリオバトル
大会 2024 で
紹介された本



どよりも遠い場所
にいる君へ
(阿部 曉子著)
育ちがいい人
だけが知っていること
(諏訪 えみ著)



あさひ
朝日キーワード 2026
ウクライナ侵襲、日本被団協
オーバーツーリズム —
これらの言葉を知って
ピンときますか。
就職活動、受験勉強
に役立つ一冊。

